

# 九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和5年7月分：速報)



## <対世界>

○輸出総額:1兆167億円(伸率: +2.8%) ⇒ 15か月連続のプラス

・順位:2位、7月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(535か月、7月は45か月)による。以下同じ。】

・増加品目:自動車(同+12.5%)、半導体等製造装置(同+19.2%)

○輸入総額:9,257億円(伸率:▲17.1%) ⇒ 3か月連続のマイナス

・順位:14位、7月としては3位

・減少品目:原粗油(同▲34.7%)、石炭(同▲49.8%)

○差引額:910億円 ⇒ 2か月連続の輸出超過

・順位:82位、7月としては9位

為替レート: 2023年7月:142.32円/ドル(2022年7月:136.05円/ドルと比べ4.6%の円安)

## <品目別動向>

### ○輸出

自動車(2,493億円→2,804億円、伸率: +12.5%)は、アメリカ(416億円→786億円、同+88.8%)及びカナダ(66億円→143億円、同2.2倍)向けが増加し、6か月連続のプラスとなった。

また、半導体等製造装置(683億円→814億円、同+19.2%)は、中国(193億円→448億円、同2.3倍)及びアメリカ(13億円→21億円、同+55.4%)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

一方、石油製品(285億円→22億円、同▲92.4%)は、シンガポール(83億円→5百万円、同▲99.9%)及びフィリピン(75億円→1千万円、同▲99.8%)向けが減少し、3か月連続のマイナスとなった。

### ○輸入

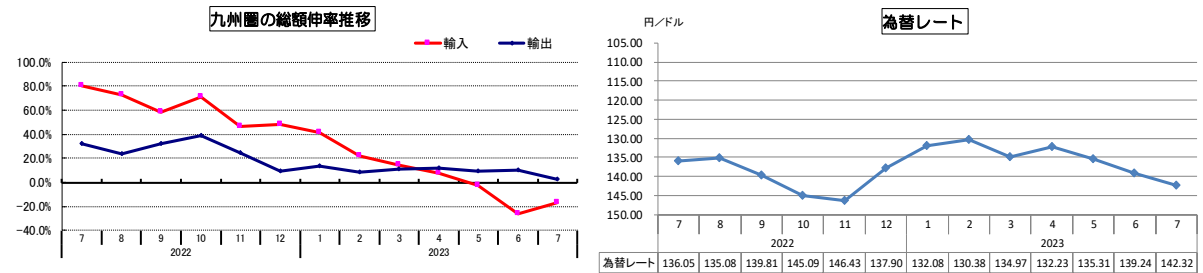
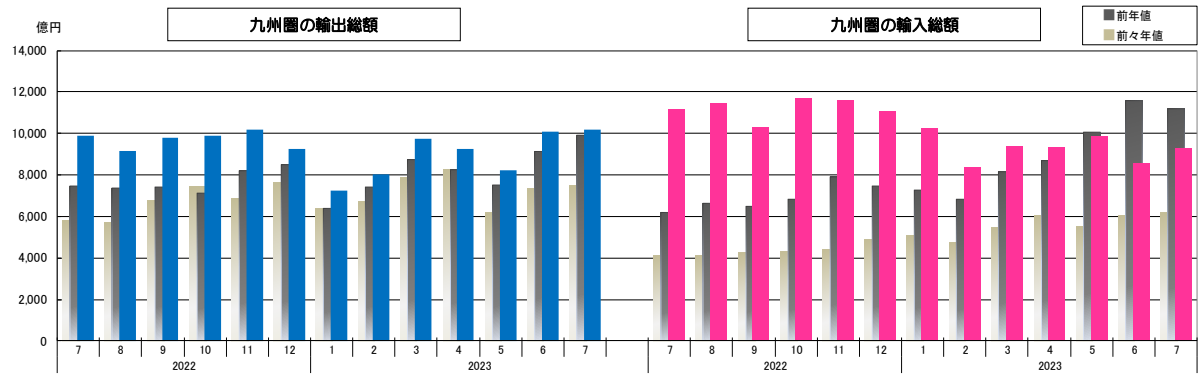
原粗油(312万KL→281万KL、伸率:▲10.1%、3,089億円→2,018億円、同▲34.7%)は、数量、価額ともに減少し、4か月連続のマイナスとなった。

また、石炭(395万MT→326万MT、同▲17.3%、1,972億円→991億円、同▲49.8%)は、数量、価額ともに減少し、3か月連続のマイナスとなった。

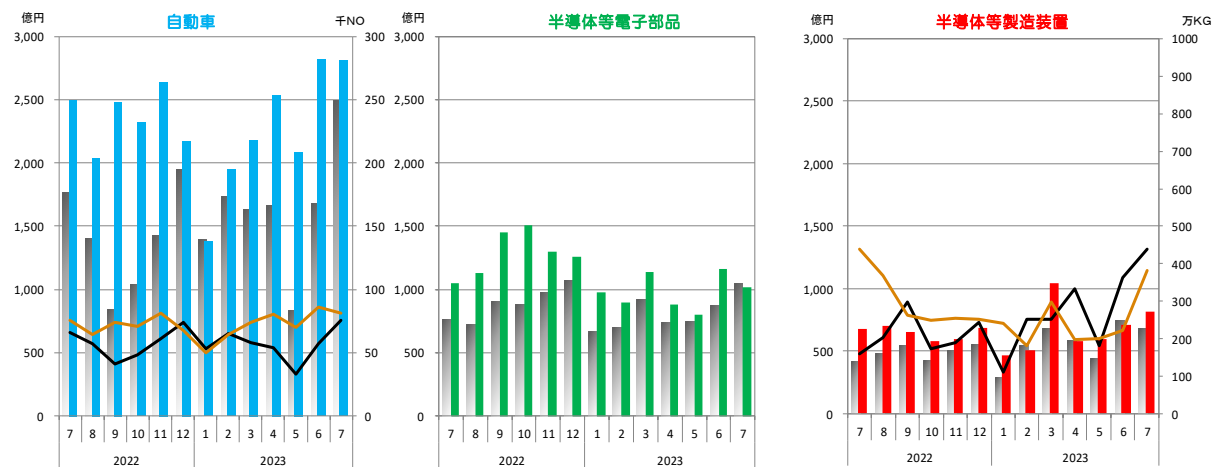
一方、半導体等電子部品(367億円→654億円、同+78.0%)は、台湾(271億円→573億円、同2.1倍)及びEU(16億円→24億円、同+48.4%)からが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

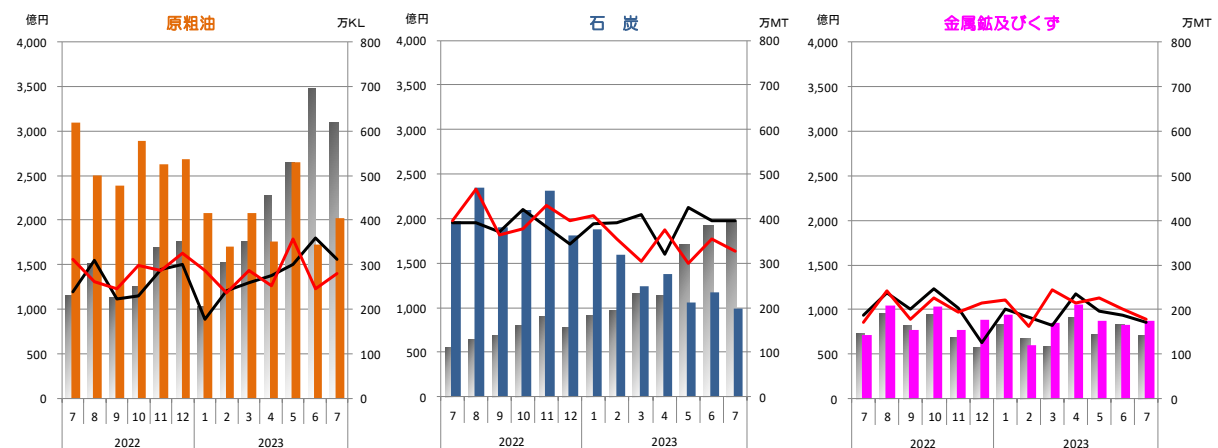
# 令和5年7月分：速報



## 九州圏の輸出主要品目推移



## 九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。